

申し込み方法

電話、FAX、ホームページにより申し込むことができます。
お申し込みの際には、必ず、以下の必要事項をご記入、又はご連絡ください。

【必要事項】 ①氏名 ②学校名 ③連絡先(TEL、FAX、E-mail等)

【申込先】 山陽小野田市立 山口東京理科大学 事務部 総務課 地域連携室

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL:0836-88-3500 FAX:0836-88-3400 <http://www.tusy.ac.jp/>

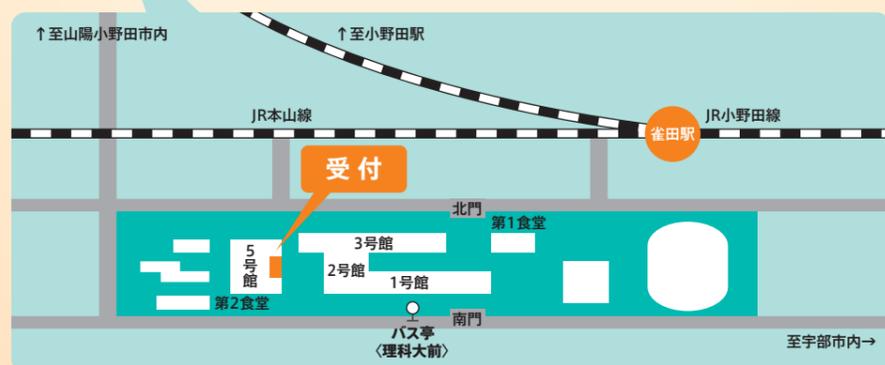
【申込締切】 平成29年10月2日(月)

案内図



ACCESS

-  JR小野田線
「雀田駅」下車徒歩5分
-  JR小野田駅より
船鉄バスで約20分
-  山陽自動車道
小野田I.C.から約20分



お問い合わせ

山陽小野田市立山口東京理科大学
事務部 総務課 地域連携室

〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL:0836-88-3500 FAX:0836-88-3400
<http://www.tusy.ac.jp/>

公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学

理科教員のための リカレント・セミナー(生物)

Recurrent seminar for Science teacher

山陽小野田市立山口東京理科大学では、毎年中学校・高等学校の教員向けのリカレントセミナーを開催しております。本年度は、生物をテーマに取り上げ、急速に進歩を遂げる生命科学の研究の成果の一端をご紹介しますと共に、大学の研究装置を使ってゲノム検出の実習を行います。高等学校の理科では、探求的な学習が重視され、中学校理科の学習の成果を踏まえて、自然科学の複数の領域を学び、基礎的な科学的素養を幅広く養い、科学に対する関心を持ち続ける態度を育てることが求められています。今回のセミナーを通じて、生徒の能力・適性・興味関心に応じて生物を深く学び、探求する能力や態度を高めるにはどうすればよいか、考察を進めていきたいと思えます。中学校・高等学校の現場の授業の一助となれば幸いです。多数のご参加をお待ち申し上げます。

平成29年10月7日(土)

山陽小野田市立山口東京理科大学(山陽小野田市大学通1-1-1)

対象:高等学校・中学校の理科教員(小学校教員も参加できます) 定員30名 受講料無料

主催:山陽小野田市立山口東京理科大学 地域連携センター
共催:山陽小野田市教育委員会 後援:山口県教育委員会

理科教員のためのリカレント・セミナー(生物)

平成29年10月7日(土) 10:00~16:00

Recurrent seminar for Science teacher

当日のプログラム

10:00

大学集合

10:00-10:10

センター長挨拶

10:10-11:10

生物学講義

講演テーマ

第三の生体高分子 糖鎖の生物学

糖が鎖状に連なった分子(糖鎖)が高等生物の脂質やタンパク質に結合していることが知られています。ABO式血液型の原因物質であるという以外には学校の生物の教科書に取り上げられることも少なく馴染みが薄い分子かもしれません。しかし、糖鎖は核酸、タンパク質に次ぐ第三の生命鎖ともいわれ、重要な役割を担っていることが明らかとなってきました。糖鎖とはどのような構造をしていてどのような役割をもつものなのか現在の知見を解説いたします。

【講師プロフィール】

よしみ ようじ
吉見 陽児

山陽小野田市立山口東京理科大学
共通教育センター講師

東京理科大学工学部応用生物科学科卒業、同大学大学院理工学研究科応用生物科学専攻博士課程修了(博士(理学))・国立成育医療センター研究所流動研究員・コーニングインターナショナル株式会社・東京理科大学工学部応用生物科学科助教を経て、2016年より現職



11:30-13:00

昼食

13:00-16:00

生物学実験

実験テーマ

Polymerase chain reaction (PCR)によるAlu配列の増幅 ~PCRによるゲノムの個人差の検出~

PCRは微量DNAから、特定のDNA領域を増幅する方法で遺伝子を解析する上で、これなしには済まされないといいほど重要な技術となっています。本実習では、頬の粘膜細胞よりDNAを抽出し、PCRを用いて第16染色体上にあるPV92遺伝子座の一部を増幅することにより、ひとりひとりのゲノムの違いを検出します。この実習を通して、分子生物学の研究分野では必須の技術であるPCRやアガロースゲル電気泳動の原理や方法を学びます。

【講師プロフィール】

いわだて ひろもと
岩館 寛大

山陽小野田市立山口東京理科大学
工学部応用化学科・准教授

東京理科大学工学部応用生物科学科卒業、同大学院理工学研究科修士課程修了・東京理科大学博士(理学)・山口東京理科大学基礎工学部助手・講師を経て、2016年より現職



16:00

終了